

「川ガキ」とは、水辺で元気よく遊ぶ子どものこと。昔は各地で姿を見かけた「川ガキ」も、今ではメダカなどの生きものと同じく貴重な存在といえるかもしれません。この「BIOBIOかっぱの里」には、昔ながらのメダカが泳ぐ川があり、カエルの鳴き声が響くアシ原が茂っています。ドジョウが棲む田んぼなど、いまとなっては“懐かしい風景”ともいえるこの場所で写真展が開催できること、本当に嬉しく思います。

ここでは、メダカやフナ、エビなどの水生生物を実際に手に取ってみることができます。ぜひ、写真のなかの子どもたちの笑い声を心で聞き、生きものを探し、水に触れて見てください。大人だって、子どもだって、いますぐ「川ガキ」になれるのだから。

好奇心を大切に。

子どもと子どもだった大人へ、ボクからの提案です。

## 村山嘉昭

### 【村山嘉昭 プロフィール】

写真家。1971年生まれ。神奈川県横浜市出身。雑誌社の写真部勤務、テレビ・ラジオの広報写真を経て、現在は人と自然のかかわりをテーマにした取材や撮影を行う。日本の水辺環境に危機感を持ち、7年前から各地の「川ガキ」を撮り続けている。

<http://www.kawagaki.net>



アクアマリンふくしま

■ふくしま海洋科学館

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町 50

TEL0246-73-2525(代表)

<http://www.marine.fks.ed.jp>

# 川ガキの いろとこころ

村山嘉昭 写真展

2005.7.15-9.26  
BIOBIOかっぱの里(1F)

